



佐賀大学教育学部附属中学校

教育目標

本校の使命に応じて、高いレベルで自律し、共同することができる次世代リーダーを育成する

めざす生徒像

自律と共同によって、自他の力を高める生徒

- ① 自律的リーダーシップを発揮して、教師とともに学校をつくる
- ② 「学び」の意味を考え、現実的・学問的な問題を発見し、粘り強く探究する
- ③ 健康や安全に配慮し、心身を鍛え、文化的活動に励む



主な取り組み

カリキュラム・デザインの基盤として、思考力・判断力・表現力等に関わる要素を中心に「言語の20要素」を設定し、各教科等及び領域の授業とは別に、特設の時間「B-Time」で指導をしています。

グローバル人材育成の素地を培うために、自治体や大学と連携して、香港や上海の中学校との交流を行っています。

いじめ根絶のための取り組みとして、全県下の学校に呼びかけ、生徒会主催で「いじめ撲滅会議」を開催しています。H29年度は、協議の柱を「いじめはどのようにして生じるのか」とし、参加者103名全員でその理由と問題点について真剣に話し合いました。

東日本復興支援・地域ボランティア等に、全校生徒が主体的に積極的に取り組んでいます。毎年参加している「佐賀ひな市」では、石巻市などから商品を仕入れ販売し、売上金を全て寄付しています。

「大学の授業を受けてみよう」（育友会活動の一環・毎年9月上旬開催）では、全校生徒が佐賀大学の授業を体験します。



東日本復興支援の様子



「大学の授業を受けてみよう」の様子

教員研修の取り組み

- 中堅教諭等資質向上研修の研修会を実施しています
- 佐賀県教育委員会「児童生徒の活用力向上研究指定事業」の研究協力校として、活用力向上公開授業研究会を行っています（研究発表会とは別に、年間19コマの授業公開）
- 教員免許状更新講習を一部教科で実施予定（平成30年度より）